

## 犬山市タウンミーティングより

### <概要>

- 犬山市タウンミーティングでは、「犬山市の地域福祉を考えよう」と題して、「8050 問題から考える地域福祉」をテーマに、市民による意見交換を実施しました。
- グループワークの時間には、8050 問題に関するビデオを視聴した後、問題に対して“私ができること（自助）”、“一緒にできること（互助）”という2つの視点から、できることについて意見交換を行いました。
- 以下の結果は、各グループが自分たちの意見のベスト3を選択して整理した内容です。□の中は、グループワークで書き出された意見です。

### <各グループの意見（ベスト3及びその他の意見）>

■ 8月20日実施分

#### グループ1

- あいさつや声かけをする。
- 地域活動やボランティア活動を皆でする。交流する。
- 当事者の方が話せる場所を作る。機会を作る（地域や公共の場など）。

#### <私ができること（自助）>

- ・ 8050 問題について自分で勉強する ・ あいさつする
- ・ 中途失聴者や難聴者とコミュニケーションする ・ 共通の話題を探す
- ・ 友達と連絡をとる、話を聞いたり、話を聞いてもらう
- ・ 家族等と連絡をとって話をきく ・ お話を聴く ・ 傾聴する
- ・ 当事者がどうしてほしいのか知る場所を作ってほしい

#### <一緒にできること（互助）>

- ・ 地域をまわる、会話したい ・ 周りと連携して情報共有する
- ・ 聴こえない人が一人にならないようにする 勉強会に参加する
- ・ DVDと一緒に見る ・ 会社の中で勉強会をする
- ・ 福祉関係の人と話をする（情報提供）
- ・ 地域の行事に積極的に参加する、地域の人と交流を図る
- ・ ボランティア活動をする

## グループ2

- はなしを聞く、共感する。
- 地域の相談窓口に行く。
- 定期的に話を聞く。

### <私ができること(自助)>

- ・近所の人に声掛けをする ・声掛け、毎日のあいさつ
- ・一緒に外に出る ・外に連れ出す ・飲みにさそう
- ・おいしい物を食べに行く ・話を聞いてあげる、話を聞く ・共感する
- ・一緒に相談に行く ・趣味の話をする ・市役所などに相談する
- ・本人の願いをかなえるための道筋を考える
- ・本人がどうなりたいかを聞き出す ・悩みがどこにあるのか考える
- ・一緒にゲームする ・電話をする ・LINEを送る

### <一緒にできること(互助)>

- ・家族を巻き込む ・相談にのる、地域の相談窓口に行く
- ・相談員さんの話を聞く ・外に連れ出す、どこかに遊びに行く(3人くらい)
- ・ドライブに行く ・定期的な訪問 ・こころのささえをみつける
- ・仲間を探しにいく ・仲間と一緒にゲームにさそう
- ・同じような方の仕事の所を見学する ・見学に行く
- ・コミュニティへの参加 ・近所の集まりに参加
- ・ご近所との交流、清掃、買い物 ・楽しみを見つかる ・組織をつくる

## グループ3

- 何回も足を運んで気にかける。
- 自分をわかってもらう。
- 共通の話題からイベントに誘う。

### <私ができること(自助)>

- ・何回も足を運ぶ ・気にかける ・笑顔であいさつする
- ・一緒に話を聞く、相手に会う ・聞き上手になること
- ・話を聞いてあげる ・話を聞く ・行政よりも家族に聞く
- ・相手の人が答えやすいように導く
- ・自分を周りに表現する ・自分から話をしていく
- ・共通で話せる内容を見つける ・当事者のことをよく知る(背景)
- ・人はみんな違うとわかり合う ・共感する
- ・誰でも悩みがあるということをお互いに知る
- ・外出する機会を作る ・手話サークルに参加してもらう

### <一緒にできること(互助)>

- ・家族のストレスをなくし話を聞く ・興味のあることを聞く
- ・得意なことを聞く ・家族や友達と話し合う
- ・友人以外の集まりや交流の場を増やす企画づくり
- ・民間と協力して働き口を結びつけ支援する
- ・行政が同じひきこもり同士で連絡先をつなげる ・イベントにさそう
- ・行政の窓口から密着型の支援につなげる
- ・支援が受けられるよう社協に相談に行く

#### グループ4

- 今日の話をみんなに話す。
- 社会資源の情報源を知る、提供する。
- 本人と家族の話を聴く。

##### <私ができること（自助）>

- ・まずは現状を認める ・ひきこもる時間も悪くないかもと伝える
- ・お話を聞くこと ・ひきこもりの人の話を聞くこと
- ・建設的な思考になるまで何もなくても時間を共有する
- ・困っている人の話をじっくり聴くこと
- ・家族からひきこもりがいると聞いた時に話を聞くこと
- ・今日の話友人に話す ・今日話を職場に伝達する ・学校・地域で話す
- ・周りにひきこもりの人がいないか、常日頃から気をつけて、いざとなったら話を聞きにいく体制を作っておくこと
- ・なんとなく気にしてあげる
- ・8050 について組織として何が出来るか内部に投げかける
- ・一緒に外出の手助ができれば ・外出の機会をつくる
- ・当事者・家族だけでなく、私もついていくことも大事だと思った
- ・私もよく福祉の勉強をしなくてはと思っている

##### <一緒にできること（互助）>

- ・身内の方と一緒に何が出来るかを考えて行動する
- ・家族が相談員と話し合いをもつこと
- ・今まで行政とご本人・当事者だけの相談でしたが、やはり私も一緒に良い
- ・家族会や自助グループに誘う ・家族への支援者と本人への支援者をわける
- ・本人と会っていろいろなことをやりたい希望があれば協力し合いたい
- ・ヘルプのサインをキャッチしてあげる
- ・対象者が困っていることがわかったら行政に伝える
- ・外に出る時のサポート役を探す
- ・就労継続支援につなげられないか検討する
- ・精神障害者家族会としてつながっているが、地域の人にも知ってもらおう

## グループ5

- 否定せず話を聴く。
- 小・中学生の頃から 8050 について学ぶ。
- 同じ経験をした人同士の共有の場をつくる（80の会、50の会）。

### <私ができること（自助）>

- ・話を聴く ・おもしろい話をする ・話しかけること
- ・問題解決に向けて一緒に話を聴いてあげる ・否定しない
- ・8050 について学ぶ ・勉強会に参加
- ・ひとりじゃない、同じ思いをしている人が世の中にたくさんいると伝える
- ・料理をつくってあげる ・地域のフリースペース等福祉活用する
- ・つながっていることを続けていく ・SNSでつながる
- ・一緒に地域の行事に参加 ・出かけようとさそうこと
- ・やってみたいことを一緒にやる ・小さなことをほめる

### <一緒にできること（互助）>

- ・ネットワークを広げる ・行政とつながる ・専門の職種に相談する
- ・支援してくれる人につなぐこと ・同じつらかった経験をした人を紹介する
- ・80の会を企画する ・50の会を企画する
- ・小・中学生の頃から情報に触れる ・経験者の話を聞く

## グループ6

- 普通にする。
- 寄り添う。
- 何をしている時が楽しいか聞く。

### <私ができること（自助）>

- ・普通に接する ・寄り添う ・何をしている時が楽しいのか聞いてみる
- ・理解する ・そういう人がいたら話し相手になる
- ・相手の話に耳を傾ける ・話せる関係を築く ・相手のペースに合わせる
- ・とにかく話をたくさん聞く ・好きなことを聞いてみる
- ・不安なことを聞く ・何でもいいので話を聞く
- ・当事者の方の思いを聞く ・本人が自分で話すまで特にあわてない
- ・ご飯をつくる、きちんと栄養をとる ・こういった会に参加する
- ・こまかな点に気をつけて世話をする ・相手を認める
- ・本・漫画・DVD・ユーチューブなどを見る
- ・一緒に外へ出かける ・外出する時は必ず一緒に行く
- ・いつもと変わった点がないか気をつける ・本人の考えがわからない
- ・知らない、わからないことはわからないと伝える
- ・わからないことは調べてみる
- ・自分が気をつけて長生きする ・生活費を多く残す

### <一緒にできること（互助）>

- ・何かをつくりあげる、達成感を与えられる何か（ゲームでもよい）
- ・短時間でも働ける場所をつくる ・仲間をさがす（趣味等）
- ・安心できるような雰囲気づくり
- ・介護者として 50の方と協力して 80の方を支援する

## 市長の講評

- 6つのグループには、共感なども含めて「聴く」という共通するキーワードが用いられていた点が印象的だった。
- グループ1で指摘されている「当事者が話す場をつくる」という視点はとても良いと感じた。
- グループ2が指摘している「相談窓口に行く」という視点はとても大切。
- グループ3が指摘している「何回も足をはこぶ」という丁寧さはとても大切。本気で向きあうことが大切だと感じた。
- グループ4が指摘している、支援が必要な人に「社会資源の情報を知る・伝える」という視点はとても重要だと感じた。
- グループ5が指摘している「小中学校から 8050 問題について学ぶ」ことや、「同じ経験をした人どうしの支え合い」は大切。
- グループ6が指摘している「普通にする」という視点はとても大切。

## ■ 8月28日実施分

### グループA

- 話を聞いてあげる。
- SOSの発信方法を理解してもらう。
- 居場所づくり。

#### <私ができること（自助）>

- ・話を傾聴する ・本人の話をきく ・話をすること ・声かけ
- ・本人への声かけをする（ほめる） ・よりそってあげる
- ・ご本人にとって何が支障となっているか共に分析する
- ・ご自分でできることを話してもらう
- ・ご自分でできなくなったことも話してもらう ・家族の話をきく
- ・行事に誘う ・居場所づくり ・一緒に同じ所にいるだけで楽しい
- ・わかりやすい言葉で説明する ・一緒に出かける（買い物・ランチなど）
- ・自分の希望を認める ・今できていることを認める
- ・人に頼ろうと決意する ・ひきこもりによって守っていることを知る
- ・しっかりやすむ ・私自身を信用してもらう

#### <一緒にできること（互助）>

- ・話を聞いてあげる ・話をきく ・心配していることを伝える
- ・いっしょに出かける ・人と出会える場を探す（勉強、趣味）
- ・SOSの発信方法を理解してもらう
- ・治療・専門家につなげる ・本人へのアプローチ
- ・本人へ近隣の関係者（民生委員・行政）から声かけ ・地域の人と考える
- ・地域ケア会議を開催してもらう ・会うこと
- ・民生委員さんと一緒に ・相談できるところを探す
- ・定期的な情報共有をしてもらう ・一緒に出かける（買い物・ランチなど）

## グループB

- 話し相手になる、しかる、ほめる。
- 本人が行きたくなる場所に誘う（楽しい、趣味、同じ悩み）。
- 役割をもち達成感や成功体験が得られる機会の提供（通学路の見守り役）。

### <私ができること（自助）>

- ・話し相手になる ・希望の出会いを作る ・町内の付き合いを行う
- ・毎日のあいさつを行う ・少しでも話しを聞く
- ・町内の人達が話し合いの機会をもうける
- ・近所どうして物品の交換をおこなう
- ・近所の人との関係づくり（どんな人が住んでいるかを知る）
- ・悩みを聞いてあげる ・いろいろな体験 ・一緒にあそぶ ・相談にのる
- ・話をきく ・中立をとること
- ・ひきこもっている人の思いを知る（理解する）ための本などを読む
- ・本人の好きなこと、特技などを知ることから出るきっかけはなにか考える

### <一緒にできること（互助）>

- ・しかることとほめる ・達成感を重ねる ・成功体験
- ・通学路の見守り役をお願いする ・グループで一緒に体験する
- ・楽しい場所に行く ・ひきこもりとはどういうことか理解を深める場
- ・ひきこもりは恥ずかしいことではない、という理解を深める
- ・趣味の同じ会に誘う ・同じ悩みを持つ人が集まれる場所をつくる
- ・サークル等で傾聴者と行事に、話しもできる

## グループC

- コミュニケーション。
- 情報を共有する。
- 見守る。

### <私ができること（自助）>

- ・話を伝える ・話を聞く ・お茶でもする
- ・本人または関係者の話を聞く
- ・声を掛け合う ・近所の人にあいさつをする ・見守るしかない
- ・深刻に感じたら自分一人でかかえこまないように話しておく
- ・まずは気づいてあげること ・気づいてあげる ・一緒に考えようと誘う
- ・話したくない時間き出そうとしない
- ・相手の状況を自分と同じだと思わない ・相手の気持ちを決めつけない

### <一緒にできること（互助）>

- ・あいさつ運動 ・相談したり話をしたりする場を作る
- ・いつでも話ができる場を提供する（ツイッター）
- ・SNSをみんなで使う ・周囲の人達と情報共有する
- ・今日のような場でいろいろな人と話し合う ・勉強会（講座）
- ・相談しやすいよう情報を発信する（80代の者でもわかるよう）

## グループD

- 本人・親・地域から話を聞く。
- 外出の機会を作る（コーヒー、お食事など）。
- 専門機関へのつなぎ（キーワードは「つなぐ」）。専門機関から専門機関へのつなぎ。

### <私ができること（自助）>

- ・当事者の近所の人から様子を聞くこと ・地域の方々と関わる時間をもつ
- ・当事者の親から相談があれば専門機関へつなぐこと
- ・ひきこもりの人の親から話を聞くこと ・お話し相手
- ・ご家族からも話を聞く ・訪問して話を聞く ・話を聴くこと
- ・得意なことを聞き出す ・ダベリング ・何気なく顔を合わせていく
- ・一緒に図書館へ行きましょう ・散歩
- ・一人で食事もいいですが時には一緒にどうですか
- ・おいしいコーヒーを飲んでもらう
- ・困っていることの課題整理をする ・代筆
- ・働きたいということであれば一緒に仕事を探す

### <一緒にできること（互助）>

- ・専門機関と当事者の家庭を見守ること
- ・民生委員さんと一緒に訪問する ・民生委員さんと協力する
- ・仲間や地域の人に伝えること
- ・動物を飼う（山羊）
- ・得意なことを子ども達に教えてもらう（居場所・出番づくり）
- ・カフェなどで外に出る場をつくる ・一緒に汗を流すこと（農作業）
- ・医療機関と将来についての話を一緒に聞く
- ・働きたいということであれば関係機関と一緒に仕事について話合いをする
- ・買物に一緒に行きましょう
- ・あなたのお話聞かせてください、どんなお話でも

## グループE

- 色めがねで人を見ない。
- 知識をつける。
- ひきこもりの実態調査。

### <私ができること（自助）>

- ・心を強くする
- ・少し気になる方と会ったら「ごきげんいかが」と聞いてみる
- ・道で会ったときあいさつをする ・会ったら声掛けをする
- ・地域の人とあいさつすること
- ・話し相手になってあげる ・話を聞く ・傾聴する ・相談・傾聴
- ・相手の話を聞く ・こまめな連絡
- ・スポーツにさそう ・一緒に外出をする
- ・外に出るきっかけをつくる（本人の好きなこと、得意なこと）
- ・色めがねで人を見ない ・人の苦手意識を持たない
- ・相手を受け入れる（否定しない）
- ・ゴミ拾いなど参加しやすい社会参加へのよびかけ
- ・ゴミ捨て場であいさつ、ゴミを拾う
- ・知識をつける ・コミュニティにさそう
- ・地域の井戸端会議にも時には顔を出す ・他の家庭に興味を持つ
- ・笑顔で生活 ・子ども（障害のある）とどンドン外を歩くこと
- ・自分を知ってもらう ・今の仕事、「父母の会」をしっかりとやること

### <一緒にできること（互助）>

- ・家族の理解を深める勉強会などの開催 ・相談体制
- ・家族の方と交わる、話を聞く場をつくる ・電話で話を聞くこと
- ・偏見を持って見ない
- ・回覧板など回して社会資源を発信 ・就労支援 ・訪問支援
- ・何か外に出る仕組みを強制する
- ・地域で同じ悩みを抱える人達の集いの場をつくる ・居場所づくり
- ・地域コミュニティへの参加呼びかけ ・コミュニティに参加してもらう
- ・グループ活動にさそう ・楽しい空間づくり ・ひきこもりの方の交流会
- ・父母の会として、つながれる方や団体と交流していく ・一緒に共有

## 市長の講評

- 今回のようなブレインストーミングは、アイデアが出やすいという特徴がある。
- 今回も、重要なキーワードをたくさん出していただいたと感じた。「話を聴く」「情報を共有する」「知識をつける」「居場所をつくる」「見守り」「あいさつ」などは、各グループで話し合われていたと感じた。
- グループAでは、SOSの発信方法を理解することの大切さを指摘していた。
- グループBでは、「叱る」「ほめる」という言葉が印象に残った。これは、



本気で向き合わないとできないことだと思う。そして、成功体験が重要であることを指摘している点も良いと思う。

- グループCでは、コミュニケーションの大切さを指摘し、SNSの利用なども提案している点が印象的だった。
- グループDが指摘している、本人が困っていることの課題整理を支援するという視点がはととても大切。そうしないと問題を解決できない。
- グループEが指摘する「色めがねで見ない」ことは、簡単なことではないが、とても大切。相手の立場に立った見方や正しい認識はととても重要だと思う。

